

全日本ジュニア テコンドー選手権大会 2016

申請要項

実施要綱.....	1
申請方法と注意事項.....	2
競技者規定.....	3~4
競技ルール.....	5~7
競技種目.....	8
個人申請書.....	9

実施要綱

1. 名称 全日本ジュニアテコンドー選手権大会2016
2. 共催 日本国際テコンドー協会 (ITF-JAPAN) / 有限会社コリア武研
3. 後援 国際テコンドー連盟 (ITF) / 東京都テコンドー連盟
4. 製作 有限会社コリア武研
5. 開催日時 2016年8月7日(日) ※集合時間等は道場長宛に後日通知します。
6. 会場 日野市市民の森 ふれあいホール <http://hino.esforta.jp/access/>
〒191-0011 東京都日野市本町 6-1-3
バス…JR「日野」駅、「立川」駅、京王線「高幡不動」駅より、京王バス【立65】
電車…JR「日野」駅より徒歩13分、多摩都市モノレール「甲州街道」駅より徒歩10分
車…中央自動車道「国立・府中」ICより15分
駐車場は台数に限りがあります。できる限り公共交通機関をご利用ください。
7. 目的 テコンドーをより多くの人に認知してもらい、日本から世界に通じる選手を育成すること
8. 出場資格 競技者規定の頁を参照
9. 試合種目 I. 個人トウル II. 個人マツソギ
10. ルール 競技ルールの頁を参照
11. 計量 I. 8月6日(土) 協会事務局にて
II. 8月7日(日) 大会会場にて
・選手は上記いずれかの日程で計量を行うこと。
・日程IIの終了時までには計量パスできない(不足や過剰)場合は失格となる。
・失格の場合、参加費の返金は致しません。
12. 表彰 トウル・マツソギ:1位、2位、3位(1名~2名)
13. 参加費 5,000円/1人
14. 振込先 多摩信用金庫 中河原支店(普通) 2233790「日本国際テコンドー協会」
※個人での参加費振込は不可
15. 締切 **2016年7月4日(月) 事務局必着**
※選手は6月30日(木)までに各道場責任者に提出
※エントリー表、申請書、写真、参加費すべての締切です。
いずれも締切期日を過ぎた場合は出場不可となります。
16. お問い合わせ 全日本ジュニアテコンドー選手権大会2016 事務局
〒183-0055
東京都府中市府中町 1-7-2 さくら食品館 3F
TEL : 042-360-1289 / FAX : 042-366-5200
Email : itf.alljapan@gmail.com (大会専用アドレス)

申請方法と注意事項

I. 選手

- (i) 下記①～③を所属する道場の責任者に提出してください。
① 個人申請書 ②参加費 ③顔写真データ（下記参照）
- (ii) 個人での申請および参加費振込は受付しません。
- (iii) 6月30日までに提出してください。

II. 道場責任者

- (i) 下記①～②を道場で一括して大会専用アドレス宛に添付（すべてデータ）送信してください。
①エントリー表 ②選手全員の顔写真
- (ii) 下記③～④を道場で一括して事務局まで郵送・振込してください。
③個人申請書 ④参加費
- (iii) ①～④すべてを事務局が確認した時点でエントリー受付完了となります。
※事務局より「エントリー受付完了」のメールを送信します。
- (iv) ①～④すべての締切が7月4日（月）です。締切を過ぎた場合エントリー受付不可です。

選手の顔写真について

- (i) 選手1人につき1枚（画像データ）※スマートフォン撮影可
- (ii) 下記6項目を厳守してください。
①競技者規定に従った道衣姿 ②カメラ目線 ③ファイティングポーズ
④バストアップ ⑤背景は白無地 ⑥カラー（白黒不可）
- (iii) 写真は、大会プログラム、オフィシャルサイト等、大会広報に使用します。
それ以外の目的では使用しませんが、写真の使用について理解した上でエントリーしてください。
- (iv) 画像サイズに気を付けてください。
一部切れているもの、余白に余裕がないもの、サイズが小さ過ぎるものは使用できません。

競技者規定

I. 出場資格

- (i) 日本国際テコンドー協会公認の道場・クラブに所属していること。
- (ii) 黒帯または赤帯であること。
- (iii) 大会当日（2016年8月7日）時点で満10歳～17歳であること。
- (iv) 各道場の責任者より出場が認められた者。
- (v) マッソギ競技に出場する者は、計量時の体重が出場する階級の規定範囲である者。

II. ドレスコード（服装規定）

- (i) 日本国際テコンドー協会公認の道衣と帯を着用すること。
- (ii) 上衣の背面下部中央に正しくゼッケンを貼り付けること。（ゼッケンは当日配布）
- (iii) 紐類はすべて隠し、袖や裾の長さが適正であること。
- (iv) 道衣の中のアンダーウェアについて
 - ・男子選手は上衣の中に何も着用してはいけない。
 - ・女子選手は上衣の中に白無地のTシャツを着用すること。（襟付、ボタン付、長袖は不可）
 - ・スパッツの着用は自由とするがロングスパッツは不可。
- (v) 金属製の髪留、ピン、ミサンガ、ハードコンタクトレンズなど、危険性のあるものは不可。

III. 防具

- (i) マッソギ競技において以下の防具の使用を義務づける。
 - ・日本国際テコンドー協会公認（マーシャルワールド製）のグローブ、シューズ
 - ・フェイスガード **(※1)**
 - ・ボディプロテクター**(※1)** Children (10-11) (12-13) のみ。
 - ・ファールカップ（男子）道衣の中に着用すること。
- (ii) 以下の防具の使用は任意とする。
 - ・シンガード（着用が望ましい）
 - ・マウスピース
 - ・チェストガード（女子）
- (iii) 赤コーナー、青コーナー、それぞれの色の防具を使用すること。
- (iv) 使用禁止の防具
 - ・破れているなど損傷が著しいもの（テーピング等による補修も不可）
 - ・サイズが合っていないもの（手指、爪先が防具からはみ出ているなど）
 - ・異物があるもの（防具内部など）
 - ・異物を身に付けること（バンデージ等の使用も不可） **(※2)**

※1 プロテクター類は大会側でも用意するが、個人所有物でも同モデルであれば使用を許可する。

※2 医療品などドクターや競技委員が使用を認めたものは可。

競技者規定

IV. コーチ

- (i) コーチは各選手が所属する道場から選出し、エントリー表にて事前に登録すること。
- (ii) 日本国際テコンドー協会会員であり、年齢が満 18 歳以上の有段者であること。
- (iii) トラックスーツ、室内シューズを着用し、ID カードを携帯すること。(※3)
- (iv) マッソギ競技を行う際にはコーチエリアにて競技者のサポートに付くこと。
- (v) マッソギ競技におけるコーチ規定
 - ・ 競技者 1 名につきコーチ 1 名までとし、競技中は着席すること。
 - ・ 競技者に対して助言、ケア等を行うことができる。
 - ・ 選手の状態が危険な場合は試合を終了（棄権）させる権限をもつ。
 - ・ タオルを用意すること。
 - ・ スポーツドリンクなど競技者のケアに必要なもの以外はコートに持ち込まないこと。
 - ・ 相手選手および審判に対して不必要な発言や行為をした場合は厳罰処分とする。

※3 上衣はスポーツウェアであれば T シャツ、ポロシャツ等も可。

ID カードは大会当日、受付にて配布します。

競技ルール

I. 個人トウル

(i) 競技方式

- ・ 競技は対戦式のトーナメント制で行われる。
- ・ 競技者は、対戦する 2 名が同時に規定のトウルを行い技量を競う。
- ・ 競技者は、①「選択」、②「指定」の順に 2 種類のトウルを行う。

①「選択トウル」(選手が自由選択するトウル)について

選択可能なトウルは各級/段位によって異なり、選手は以下の中から 1 つ選択すること。

2 級：テェゲ、ファラン

1 級：テェゲ、ファラン、チュンム

1 段：クァンゲ、ポウン、ケベク

2 段：ウィアム、チュンジャン、チュチェ

②「指定トウル」(主審が指定するトウル)について

指定範囲はチョンジ～各級/段位課題(対戦する 2 名のうち級/段位の低い方)までとする。

(例) 2 級と 1 級の対戦：チョンジ～ファランまで

(ii) 判定方法

- ・ 審判員 5 名が両選手の試技を各々評価し、優劣を判定する。
- ・ 審判員 5 名による旗判定の結果、旗が 3 つ以上あがった方を勝者とする。

(iii) 評価基準

- ① **Technical Contents** : 規定・・・・・・・・・・課題規定および各動作の正確性
- ② **Power** : パワー・・・・・・・・・・反動を利用し、集約させた力
- ③ **Breath Control** : ブレスコントロール・・・・・・・・各動作に適した正しい呼吸法
- ④ **Rhythm** : リズム・・・・・・・・・・動作間および動作規定上のリズム
- ⑤ **Balance** : バランス・・・・・・・・・・動作の安定と平衡

競技ルール

II. 個人マツソギ

(i) 競技方式

- ・ 競技は対戦式のトーナメント制で行われる。
- ・ 選手は規定の防具を着用し、ライトコンタクトでの攻防によるポイントの数を競う。

(ii) 競技時間

- ・ 1 試合 2 分 1R で行う。決勝戦のみ 2 分 2R、インターバル 1 分で行う。
- ・ 延長戦は 1 分 1R で行う。

(iii) 判定方法

- ・ 副審 4 名が各々ポイント採点を行い、減点等を含む集計結果により旗判定を行う。
- ・ 副審 4 名による旗判定の優劣により勝敗を決する。
- ・ 旗が同数の場合、または 3 名以上の副審が引き分け判定の場合は「ドロー」となる。
- ・ ドローの場合、延長戦を 1 度だけ行い勝敗を決する。
- ・ 延長戦の判定結果がドローの場合、主審が判定に加わり勝敗を決する。

(iv) アタックツール（攻撃部位）

- ・ 手・・・正拳
- ・ 足・・・上足底、足刀、踵、足甲、足裏

(v) ターゲット（攻撃範囲）

- ・ 上段・・・顔、首の正面および側面。
- ・ 中段・・・両側の腋からウエストまでのラインにわたる胴体の正面の領域。

(vi) ポイント（有効打）

- ・ ポイント（有効打）とノーポイント（無効打）を以下の表に記す。
- ・ 複数の攻撃はそれぞれに加点される。

ポイント	内 容
1 ポイント	手による中段、上段 足による中段
2 ポイント	足による上段 跳躍（中空に浮いた状態）した手による中段、上段 跳躍した足による中段
3 ポイント	跳躍した足による上段 跳躍 180 度回転（後方）した足による中段
4 ポイント	跳躍 180 度回転（後方）した足による上段 跳躍 360 度以上回転した足による中段
5 ポイント	跳躍 360 度以上回転した足による上段
ノーポイント	ガードが正しくされている場合 攻撃により自身がバランスを崩して転倒した場合 スピードのない攻撃

競技ルール

(vii) 減点

- ・あらゆる3つの注意ごとに得点結果から1ポイント減点される。※注意は無制限に与えられる
- ・あらゆる警告（イエローカード）ごとに得点結果から1ポイント減点される。

(viii) 注意

- ・両足がコートラインから出た場合
- ・足以外の部位が地についた場合
- ・転ぶ、倒れる
- ・故意に背中を向ける
- ・試合中に休む、相手との接触を避ける
- ・怪我したフリをする
- ・繰返し得点したフリをする
- ・「礼」の後にグローブタッチをする
- ・ターゲット以外への攻撃
- ・アタックツール以外での攻撃 (※4)
- ・ストレート以外の突き
- ・3発以上の連続的な手による攻撃
- ・捕まえる、掴む
- ・押してバランスを崩す
- ・不必要な発言をする
- ・主審からの指示を無視する

(ix) 警告（イエローカード）

- ・額で攻撃する
- ・戦意の消失
- ・噛む、搔く、爪で引っかく
- ・過度に接触する (※5)
- ・相手を侮辱する
- ・主審の指示を無視して、倒れた相手または準備ができていない相手を攻撃する

(x) 失格（レッドカード）

- ・審判に対する不正
- ・相手に事故を引き起こすこと
- ・再三の主審の指示を無視し続けること
- ・イエローカードを1試合の間に3回受けた場合

※4 肘、膝、指、手刀、裏拳等、アタックツール以外を使用した攻撃はすべて反則対象となる。

※5 故意であるなしにかかわらず、相手に過剰な打撃を加えたり、重大なダメージを与えようとする行為を含む。

競技種目

I. 競技カテゴリ

(i) トウル競技

- ・大会当日時点の年齢により以下の2カテゴリに分かれる。

Children (10-13)、Juniors (14-17)

- ・男女別に分かれる。
- ・Children (10-13) は赤帯の部と黒帯の部に分かれる。
- ・Juniors (14-17) は赤帯の部、一段の部、二段の部に分かれる。

(ii) マツソギ競技

- ・大会当日時点の年齢により以下の4カテゴリに分かれる。

Children (10-11)、Children (12-13)、Juniors (14-15)、Juniors (16-17)

- ・男女別に分かれる。
- ・体重別に分かれる。

II. 競技種目一覧

トウル

Children (10-13) 男子	(赤帯の部	黒帯の部)
Children (10-13) 女子	(赤帯の部	黒帯の部)
Juniors (14-17) 男子	(赤帯の部	一段の部	二段の部)
Juniors (14-17) 女子	(赤帯の部	一段の部	二段の部)

マツソギ

Children (10-11) 男子	(-30kg	-35kg	-40kg	-45kg	-50kg	+50kg)
Children (10-11) 女子	(-30kg	-35kg	-40kg	-45kg	-50kg	+50kg)
Children (12-13) 男子	(-35kg	-40kg	-45kg	-50kg	-55kg	-60kg	+60kg)
Children (12-13) 女子	(-30kg	-35kg	-40kg	-45kg	-50kg	-55kg	+55kg)
Juniors (14-15) 男子	(-45kg	-51kg	-57kg	-63kg	-69kg	-75kg	+75kg)
Juniors (14-15) 女子	(-40kg	-46kg	-52kg	-58kg	-64kg	-70kg	+70kg)
Juniors (16-17) 男子	(-45kg	-51kg	-57kg	-63kg	-69kg	-75kg	+75kg)
Juniors (16-17) 女子	(-40kg	-46kg	-52kg	-58kg	-64kg	-70kg	+70kg)

- ※ 原則として、各クラス3名以上のエントリーで競技成立とします。
エントリーが2名以下の場合、競技の廃止または統合を検討します。

全日本ジュニアテコンドー選手権大会2016 個人申請書

氏名 (漢字) _____ (英語) _____ 性別 _____ 級/段 _____

所属道場 _____ 道場責任者 (サイン) _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 才 _____ テコンドー歴 _____ 年 _____ 月 _____

身長 _____ cm 体重 _____ kg 血液型 _____ 全日本ジュニア出場回数 _____ 回目
連続 _____ 回出場

現住所 _____

電話 _____ 緊急連絡先電話 _____ (続柄) _____

メール _____ ※連絡がとりやすいもの

今大会出場種目 (前頁を参照し種目名を記入してください)

トウル _____

マッソギ _____

【 戦 績 】

※プログラム等掲載のため必ず記入してください。

◆ 2015年～2016年の戦績 ◆ ※年度、入賞、出場など詳しくお願いします

- () 年 全日本ジュニア トウル (段) / マッソギ (kg 級)
 () 年 () 大会 トウル (段) / マッソギ (kg 級)
 () 年 () 大会 トウル (段) / マッソギ (kg 級)

◆ 過去 全日本ジュニア大会での優勝戦績 または 国際大会での入賞戦績 ◆

- トウル ()
 マッソギ ()

【 誓 約 書 】

私は日本国際テコンドー協会 (ITF - JAPAN) のルールに従い、貴大会に臨む事をここに誓います。また、本大会において自己の行動に責任を持ち、試合中の怪我や事故など如何なる事柄が生じて、一切の責任は当方が負い、主催者および相手選手等に対し、ご迷惑をおかけすることはありません。

本人署名 _____ 印 _____

保護者署名 _____ 印 _____ 2016年 _____ 月 _____ 日

※ 保護者の署名と捺印が必要です。